

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどものことばとこころの相談室(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関(保健師、保育園、こども園、幼稚園、学校、他通所支援事業所、相談支援事業所等)との連携がスムーズ	・何か問題が起きた時にすぐにフィードバックし情報共有している	・集団生活での様子を訪問、観察し現場の職員と共通理解を図る
2	多機能型のため、就学時に支援が途切れず一貫した支援を提供できる	・親御さんの承諾を得てスムーズに移行ができるよう学校の先生と年度初めに連絡会を行っている ・年長児の親へ放デイ説明会を行っている ・入学後も放デイで小集団支援を行っている ・学校や教育委員会と連携をとり、委員会への出席や学校見学を行っている	・職員研修の充実 ・更に職員を確保し放デイの充実を図る ・学校への訪問回数や、ケース会議を増やす
3	相談支援センターが同じ建物内にあるため、相談支援専門員との連携が図りやすい	・事業所を共有し密に連携、情報共有を行っている ・園訪問を積極的に行い地域支援にも力を入れている	・必要に応じてケース検討を密に行っていく
4	ベテラン職員がアセスメントし、発達段階を捉えた支援を提供している	・スタッフ研修 ・特性に応じて支援プログラムを立案している ・支援前後の打ち合わせや、振り返りを行っている ・中間評価や期末評価の際には、グループに携わっているスタッフで検討を行っている	・職員研修(外部研修や育成)を行い知識を身につけ、スキルアップを図る ・ケース検討を行いながら様々な視点を入れていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新人職員の育成	・最小限の職員配置 ・日々の支援に追われ丁寧な関わり(指導)ができていない	・長期的な関わり(指導)で対応する
2	専門職の不足(言語聴覚士や保育士) フルタイムの指導員の不足	・正職員の採用の機会の少なさ ・業務内容の専門性が高い ・業務内容が多岐に渡ることから、個々の負担が大きい	・正職員を採用し人材を育成する
3	・地域支援の充実 ・人員基準は満たしているが指導員は不足しているため、日々のグループ支援が中心となっている。そのため、利用児の所属園や学校での様子を見学する機会が持ちにくい	・専門性のある指導員(正職)が不足しているため、事業所内で支援を提供することで手一杯なところがあり、連携機関に訪問する時間が取れない	・若手の採用、育成 ・職員で連携を取りながら協力していく ・他種職連携に積極的に取り組んでいく

従業者向け 放課後等デイサービス評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	ご意見を踏まえての対応
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (9)		・定員10名でも良いと思う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89% (8)	11% (1)	・配置数は適切だが職員数は少ない	基準は満たしています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (9)			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67% (6)	33% (3)	・床が固い ・床に敷いてあるマットの厚みが薄く安全面で心配 ・プレイ1の絨毯が交換できない(予算の都合上)	市と協議予定です
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (9)			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (9)			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (9)			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (9)			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	44% (4)	56% (5)		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89% (8)	11% (1)	・勤務時間内に研修を行うことが難しい	今後も内部研修を充実させていきます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (9)			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100% (9)			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (9)			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (9)			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (9)			
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (9)			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89% (8)	11% (1)	・リーダー任せにしていることが多い	事前打ち合わせをして検討を行っていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (9)			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100% (9)			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (9)			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (9)			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (9)			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (9)			
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100% (9)			
関係者	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (9)		・「する」「しない」カード	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (9)			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (9)			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100% (9)			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100% (9)			

や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	78% (7)	22% (2)	・該当無し ・卒業児はいなかったため	左記に同じ
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100% (9)			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	44% (4)	56% (5)	・交流の機会はない	学区外のお子さんとの交流し、活動しています
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100% (9)			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (9)			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67% (6)	33% (3)	・保護者同士で子育ての悩み等について話し合う機会を設けている ・今年度は行えていない	左記に同じ
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (9)			
	37	放課後等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (9)			
	38	「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	100% (9)			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (9)			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100% (9)			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (9)			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67% (6)	33% (3)	・HP機能していない ・SNS今後検討必要	現在は館内掲示のみですが、今後運営支援サービス(リタリコ)等を利用して発信していく予定です
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (9)			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (9)				

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56% (5)	44% (4)	・フォーラム参加 ・機会なし	保護者会行事を開催しています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (9)			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (9)			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (9)		・予防接種以外(2)	服薬・発作等は親御さんからお聞きし、確認しています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	56% (5)	44% (4)	・調理をする際に事前に確認はしている ・保護者への聞き取り	左記に同じ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (9)			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	89% (8)	11% (1)		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (9)			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (9)			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	100% (9)			

保護者向け 放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。
「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (12)					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42% (5)	33% (4)	17% (2)	8% (1)	人数が増えてくれると嬉しい	・配置基準は満たしています。今後も人材育成に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92% (11)	8% (1)				・バリアフリーに関しては、部屋を一階にしたり人的配慮で対応しております。 ・視覚支援や仕切りを用いて構造化できるよう配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100% (12)					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100% (12)					
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92% (11)			8% (1)		・支援プログラムは館内に提示しており、初回にグループ内容を説明しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	92% (11)			8% (1)		・計画を説明し評価を行っています。随時個別支援計画の内容について親御さんと話し合う機会を設けていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92% (11)			8% (1)		・ガイドラインに沿った支援を行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (12)					
10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100% (12)						

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	50% (6)	25% (3)	17% (2)	8% (1)		・ほとんどの利用児が学童クラブ等と併用されています。 ・保護者事業ではきょうだいや他地域の子と交流する機会となっています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (12)					
	13	「放課後等ディサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (12)					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※5等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	92% (11)			8% (1)		・ペアレントトレーニングは行っていませんが、座談会の機会を設けています。外部の研修は掲示にてご案内しております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100% (12)					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100% (12)					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (12)					・今後も本人やご家族に寄り添った支援を提供できるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	92% (11)			8% (1)		・保護者会事業を1月に実施しました。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92% (11)	8% (1)				・ご希望に応じ、随時面談や相談を受け付けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100% (12)					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	67% (8)	25% (3)		8% (1)		・自己評価は、社会福祉協議会のホームページにて掲載しています。SNSについては検討中です。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92% (11)			8% (1)			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84% (10)	8% (1)		8% (1)	普段母が付き添っている為分らない	・訓練は定期的を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67% (8)	8% (1)		25% (3)		・定期的に行い、館内掲示を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92% (11)				未記入8% (1)	・安全計画を作成し、支援を行っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92% (11)			9% (1)		・今年度大きな事故は発生していませんが、発生した際には迅速に対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100% (12)					・様々なご意見ありがとうございます。より一層、充実した支援が提供出来るよう、検討してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100% (12)					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100% (12)				毎回すごく楽しみにしている 高学年でもグループをやってほしいです 先生方の大変さも重々承知なのですがまだまだグループ支援をして欲しいです	

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等ディサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等ディサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況(に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等ディサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。